

0033

海軍公報

(部内限) 第二千七百四號

海軍大臣官房

昭和十二年九月一日(水)

○令達

官房機密第三五〇三號

昭和十二年九月一日

海軍大臣

部内
要令
登載

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和十一年官房機密第三一五三號中左ノ通改正ス

昭和十二(教育)年度練習艦艇配當表中海軍砲術學校

乃至海軍航海學校ノ部「第三驅逐隊」ヲ「太刀風」ニ

改メ海軍潜水學校ノ部「第十八潜水隊」ノ上ニ「第十

三潜水隊」ヲ加フ

(昭和十一年十二月一日公報(部内限)参照)

官房機密第三五〇二號

左記ノ者海軍軍醫科及藥劑科士官現役期間特例第五條

並ニ海軍武官服役令第三條第一項第一號ニ依リ當分ノ

間服役期間ヲ延長ス

昭和十二年九月一日

記

海軍大臣

海軍軍醫中尉	板津	清明
同	石井	清
同	原田	眞夫
同	渡邊	昇
同	片山	循之
同	高味	輝紀
同	山路	正巳
同	牧浦	光興
同	小林	繁
同	相川	修
海軍軍醫少尉	阿部	宏
同	井上	恒
同	清水	忠夫
同	岩井	滿
同	中村	義一

海軍公報(部内限) 第二千七百四號 昭和十二年九月一日

七九五

○通牒

官房第四四五〇號ノ三

昭和十二年九月一日

海軍省 副官

關係各廳長殿

防空演習ノ爲一般軍用飛行機ノ航空

禁止ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ今般東部防衛司令部ヨリ別紙ノ通牒有之候條了知相成度

(別紙)

東防參演第四五號

防空演習ノ爲一般軍用飛行機ノ航空禁止

相成度件通牒

昭和十二年八月二十一日

東部防衛參謀長 吉本 貞一

海軍次官 山本五十六殿

昭和十二年度關東防空演習間防空氣球昇騰ノ爲左記ノ通一般ニ軍用飛行機ノ航空ヲ禁止相成度通牒ス

左記

一、期 日 昭和十二年九月十五日午前十時ヨリ同

二、區域

月十九日午前九時ニ至ル間
荒川放水路以西、隅田川(永代橋以南
ハ第四、第五號埋立地間)以東、總武
本線以南、品川第一臺場東西ノ線以北
ノ上空(別紙要圖參照)

(別圖一葉添)

○辭令

海軍書記 藤原 熊藏
旅順要港部附ヲ命ス(海軍省)

海軍少佐 島村 信政
總務部第一課勤務ヲ命ス(海軍航空本部)

軍令部出仕海軍少佐 島村 信政
第一部第一課勤務ヲ命ス(軍令部)

○雜款

○特務艦機裝行動豫定

地名 着 發
德山 八月二十八日
旅順 九月三日
吳 九月七日

德山	十月五日	十一日
佐保	十月二十五日	十四日
吳保	十月二十五日	十七日
才ハ		二十七日

横須賀	八月二十九日	八月二十七日
吳保	九月一日	三十一日
佐世	九月四日	四日
西崎	九月七日	六日
吳須賀	九月十一日	九日
舞鶴	九月十七日	十五日
佐保	九月二十四日	二十二日
西崎	九月二十六日	二十六日
吳須賀	九月二十九日	二十八日
横須賀	十月三日	一日

○郵便物發送先
特設水上機母艦香久丸宛
當分ノ間
尙本艦小海繋留中「ハホ」ノ指定ヲ要セズ
横須賀

驅逐艦涼風宛
自今
佐世保郵便局氣付

特務艦襟裳宛

九月八日迄ニ到達見込ノモノハ
同 十三日迄ニ同 吳 佐世保
同 十六日迄ニ同 吳 德山
十月四日迄ニ同
其ノ後ハ

從來當隊宛郵便物ハ横濱市磯子區杉田郵便局留置トシ
テ取扱來リタル處自今左記ノ通變更致候

横濱市磯子區富岡町富岡郵便局留置
（横濱海軍航空隊）

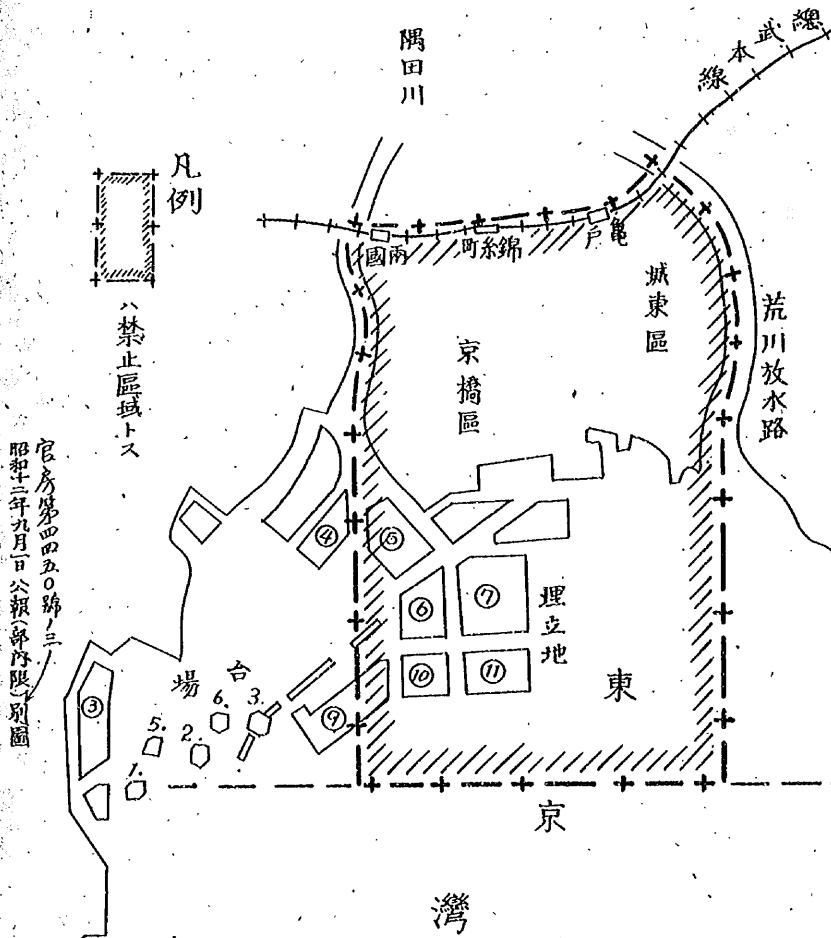
○事務所撤去
驅逐艦涼風艦裝具事務所ヲ浦賀船渠株式會社浦賀工場
内ニ設置中ノ處去月三十一日之ヲ撤去セリ

○正誤
八月廿日海軍公報（部内限）令達欄官房第三〇六號ノ
八公稱番號中「第八七三號、第八七四號、第八七五號、
第八七六號、第八七七號」ハ「第八八四號、第八八五
號、第八八六號、第八八七號、第八八八號」ノ誤

0036

防空演習間航空禁止區域要圖

約 100,000



官房第四四五〇號ノ三
昭和三年九月百六報(部内限)別圖

○艦船所在

指[△]定[△]要[△]セ[△]ズ

○九月一日午前十時調

【横須賀】 對馬[△]、愛宕、那珂[△]、阿武隈[△]、春日[△]

△山城

沖風[△]、峯風[△]、[△]羽風、秋風

伊七、呂五八[△]

富士[△]、尻矢、洲崎

(鈴谷)[△](劍崎)[△](高崎)[△]

【長浦】 呂五四、呂五五、呂五六、呂五七[△]、呂五九[△]

[△]伊二四、伊二三

【横濱】 (雁)[△]

【館山】 澤風[△]

【大湊】 帆風[△]

【函館】 大泊[△]

【吳】 矢矧、韓崎[△]、比叡[△]、最上[△]、[△]扶桑、伊勢、球磨、衣笠

夕顔、葛 呂五一[△]、呂五三[△]、呂二六[△]、呂二七[△]

呂二八[△]、伊五一[△]、[△]伊二二、伊二一、

伊五五、[△]呂三三、呂三四、[△]伊五四、

伊五三、[△]伊五六、伊五七、伊五八、

伊七一

石廊

(蒼龍)[△](千歲)[△]

【大阪】 古鷹[△]、青葉

【神戸】

(滿潮)[△](山雲)[△]

伊六三、[△]伊七二、伊七三、
(熊野)[△](荒潮)[△](伊八)[△](伊七五)[△]

【相生】

能登呂[△]

【因島】

[△]海、[△]藤

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻[△]

[△]白雲、[△]東雲、[△]叢雲、[△]遊雲

伊五二

【佐世保】

(大潮)[△]

赤城[△]、加古、長良、[△]金剛、[△]常磐、[△]摩耶、

[△]迅鯨、[△]嚴島、[△]大井

梨[△]、竹[△]、樞[△]、桃[△]、柳[△]、檜[△]、[△]董、[△]蓼、

菱[△]、[△]蓬、[△]綾波、[△]矢風、[△]朝潮

呂三〇[△]、呂三一[△]、呂三二[△]、呂六〇、

呂六一、呂六二、[△]呂六八、[△]呂六三、

[△]呂六七、[△]呂六五、[△]伊五九、伊六〇、

伊四

[△]鴻、[△]隼

敷島[△]、知床、間宮、佐多[△]、攝津

(夏雲)[△](伊七四)[△]

【富江】

呂六四

【長崎】

三隈

【郷野浦】

呂六六

【馬公】

嗟峨

海軍公報(部内限) 第二千七百四號 昭和十二年九月一日

【基隆】朝風

鴨

【巨文島】葦

【旅順】萩、葵

【大沽沖】萩

【青島】天龍、龍田

【上海】出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、鳥羽、二見、保津、堅田

蓮、栗、梅

【閩江口】早苗

【福州港外】若竹

【廈門港外】松風、春風、旗風

【作業地】陸奥、長門、日向、霧島、榛名、五十鈴、木曾、長鯨、神通、由良、名取、鬼怒、川内、高雄、龍驤、鳳翔、沖島、神威、白鷹、足柄、羽黑、那智、北上、妙高、多摩、大鯨、勝利、駒橋、淀、加賀、鳥海

【神風】野風、波風、沼風、初雪、白雪、吹雪、曉、澁、狹霧、水無月、阜月、天霧、夕霧、朝霧、菊月、望月、文月、長月、夕月、三日月、夕立、村雨、五月雨、春雨、時雨、有明、白露、夕暮、初霜、子日、若葉、初春、夕風、朝風、響、雷、電、疾風、追風、睦月、卯月

【航海中】

伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、伊六五、伊一、伊二、伊三、伊六、伊五

伊六、伊七、伊八、伊九、伊一〇、伊一一、伊一二、伊一三、伊一四、伊一五、伊一六、伊一七、伊一八、伊一九、伊二〇、伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、伊二五、伊二六、伊二七、伊二八、伊二九、伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇

彌生、如月、山風、海風、江風、芙蓉、朝顔、刈萱、太刀風、楡、夕風、敷波、龍、曙、潮

雌、鷺、鳩、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鵲

掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、掃一八、掃一九、掃二〇、掃二一、掃二二、掃二三、掃二四、掃二五、掃二六、掃二七、掃二八、掃二九、掃三〇、掃三一、掃三二、掃三三、掃三四、掃三五、掃三六、掃三七、掃三八、掃三九、掃四〇、掃四一、掃四二、掃四三、掃四四、掃四五、掃四六、掃四七、掃四八、掃四九、掃五〇、掃五一、掃五二、掃五三、掃五四、掃五五、掃五六、掃五七、掃五八、掃五九、掃六〇、掃六一、掃六二、掃六三、掃六四、掃六五、掃六六、掃六七、掃六八、掃六九、掃七〇、掃七一、掃七二、掃七三、掃七四、掃七五、掃七六、掃七七、掃七八、掃七九、掃八〇、掃八一、掃八二、掃八三、掃八四、掃八五、掃八六、掃八七、掃八八、掃八九、掃九〇、掃九一、掃九二、掃九三、掃九四、掃九五、掃九六、掃九七、掃九八、掃九九、掃一〇〇

鳴戸、鶴見、朝日、室戸、野島、襟裳、早鞆、隠戸

梯 (八月二十九日鎮海發一勝本へ)

浦波、磯波 (八月三十日横須賀發)

磐手、八雲 (八月三十一日「マルセイユ」發一「アレキサンドリア」へ)

夕張 (八月三十一日馬公發一香港港外へ)

涼風 (八月三十一日浦賀發一佐世保へ)

吳竹 (八月三十一日大星簪岩發一馬公へ)

膠州 (八月三十一日「メレヨン」發一「ブラオ」へ)

島風、沙風、灘風 (一日横須賀發一佐世保へ)

(別圖一葉、辭令公報添)

0039

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千七百五號

昭和十二年九月二日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第二九一九號ノ四
 本年官房機密第二九一九號ノ二昭和十二年度北支事件
 費ヲ以テ經費ヲ支辨スベキ各部中左ノ通追加ス

昭和十二年八月二十五日

海軍大臣

第一號中「特設病院」ノ下ニ「特設水上機母艦」ヲ
 加フ

官房第二三〇九號ノ一三

昭和十二年八月二十五日

昭和十二年八月二十五日

海軍大臣

歳出臨時部

款	項	目	節	解	疏
北支事件費	北支事件費				會計科目 電信略號



○通 牒

海人第一號ノ九五

昭和十二年八月二十六日

海軍省人事局長

係 廳長殿

戦死及戦傷死者ノ人事取扱ニ

關スル件通知

今回ノ事變ニ於ケル戦死及戦傷死者ハ當分ノ間勳功顯
 著ナルモノトシテ大正九年海人第五一號ノ手續ヲ要セ
 ザルモノト了知アリ度爲念



海軍公報(部内限) 第二千七百五號 昭和十二年九月二日

八〇一

經豫機密第三號ノ七

昭和十二年八月二十五日

海軍省 經理局長

關係各支出官
資金前渡官吏ノ殿

昭和十二年度北支事件費整理區分

ノ件通牒

本年經豫機密第三號ノ四昭和十二年度北支事件費整理區分中左ノ通追加セラレ候

二イ(四中)

「及特設病院船乘員」ヲ「、特設病院船乘員及特設水上機母艦乘員」ニ改メ

ロ(一中)

「及消耗品」ヲ「、消耗品及運搬費」ニ改メ

ハ(一中)

「特設病院」ノ下ニ「、特設水上機母艦」ヲ加ヘ

ヘ(一中)

「及特設港務部」ヲ「、特設港務部及特設水上機母艦」ニ改メ

ト(二中)

「及特設病院」ヲ「、特設病院及特設水上機母艦」ニ改メ

カノ次ニ

「ヨ軍港要港費

特命ニ依ル分」ヲ加フ

○ 辭令

(各通)

上海へ出張ヲ命ス(海軍省)

西村 恭勝

第三艦隊司令部ニ於ケル水先業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額壹萬貳千圓ヲ給シ部内限奏任官待遇

トス(軍令部同)

軍令部出仕海軍大尉 手島 勇雄

第四部第十一課勤務ヲ命ス(軍令部)

海軍技手 麻生 庄吾

筆 生 吉岡 源五郎

同 生 神山 善智

技 生 長井 謙次

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月二日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、那珂▲、阿武隈▲、春日▲

▷山城

沖風▲、峯風▲、▽羽風、秋風

伊七、呂五八▲

富士▲、尻矢

(鈴谷)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】 呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九▲

▽伊二四、伊二三

【横濱】 (雁)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】 帆風▲

【函館】 大泊▲

【吳】 矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、▷扶桑、伊勢、球磨、衣笠

夕顔、葛 呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、▽伊二二、伊二一、

伊五五、▽呂三三、呂三四、▽伊五四、

伊五三、▽伊五六、伊五七、伊五八、

伊七一

石廊

(蒼龍)▲(千歲)▲

【大阪】 古鷹▲、青葉

【神戸】 (滿潮)▲、(山雲)▲

伊六三、▽伊七二、伊七三

(熊野)▲、(荒潮)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】 能登呂▲

【因島】 ▽薄▲、藤▲

【江田内】 平戸、淺間

【舞鶴】 吾妻▲

▽白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

伊五二

【佐世保】 (大潮)▲

赤城▲、加古、長良、▽金剛、▽常磐、

▷迅鯨、巖島、大井

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、萱▲、▽蓼▲

菱▲、蓬▲、矢風、朝潮、涼風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、

呂六一、呂六二、▽呂六八、呂六三、

▽呂六七、呂六五、▽伊五九、伊六〇、

伊四▲

▽鴻、隼

敷島▲、知床、間宮、佐多▲、攝津

(夏雲)▲、(伊七四)▲

【富江】 呂六四

【長崎】 三隈

【郷野浦】 呂六六

【馬公】 嵯峨

海軍公報(部内限) 第二千七百五號 昭和十二年九月二日

【基隆】鴨 吳竹

【巨文島】葦

【旅順】萩、葵

【大沽沖】萩

【青島】△天龍、龍田
△上海△出雲、△安宅、八重山、熱海、比良、勢多、
鳥羽、二見、保津、堅田
逆、栗、梅、△芙蓉、朝顔、刈萱

【閩江口】早苗

【福州港外】△若竹

【廈門港外】△松風、春風、旗風

【作業地】△陸奥、長門、日向、△霧島、榛名、△五十鈴、
△木曾、長鯨、△神通、△由良、名取、鬼怒、
△川内、△高雄、△龍驤、鳳翔、△沖島、
△神威、白鷹、△足柄、羽黒、那智、△北上、
△妙高、多摩、大鯨、勝利、駒橋、淀、△加賀、
鳥海、摩耶

△神風、野風、波風、沼風、△初雪、白雪、
吹雪、△曉、漣、狹霧、水無月、草月、
△天霧、夕霧、朝霧、△菊月、望月、△文月、
長月、夕月、三日月、△夕立、村雨、五月雨、
春雨、△時雨、有明、白露、夕暮、△初霜、
子日、若葉、初春、△夕風、朝風、△響、
雷、電、△疾風、追風、△陸月、卯月、

【航海中】

彌生、如月、△山風、海風、江風、太刀風、
楡、夕風、△綾波、浦波、磯波、敷波、
△朧、曙、潮、△拂
△伊六八、伊六九、伊七〇、△伊六一、
伊六二、伊六四、△伊六七、伊六六、
伊六五、△伊一、伊二、伊三、△伊六、伊五
△雄、鷲、鳩、△千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶴
△掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
△掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八
鳴戸、鶴見、朝日、室戸、野島、襟裳、早鞆、
隠戸

△磐手、八雲 (八月三十一日「マルセイユ」發「ア
レキサンドリヤ」へ)

△夕張 (八月三十一日馬公發「香港港外」へ)

膠州 (八月三十一日「メレヨン」發「バラオ」へ)

△島風、汐風、灘風 (一日横須賀發「佐世保」へ)
朝風 (二日基隆發「馬公」へ)
洲埼 (二日横須賀發「大湊」へ)

(辭令公報添)

0043

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第二千七百六號

昭和十二年九月三日(金)
海軍大臣官房

○通牒

經給第三五號

昭和十二年九月二日

海軍省 經理局

關係各廳御中

勤勉手当支給ニ關スル件通牒

本年官房第四三三四號及同第四三六八號ニ依リ勤勉手当ハ食料又ハ増俸ト之ヲ併給セザルヲ原則トスルモ既ニ支給濟ノ勤勉手当ハ其ノ儘トシ其ノ日額ニシテ増俸又ハ食料ノ日額(増俸ト同時ニ食料ヲ受クル者ニ在リテハ其ノ合計日額)ヨリ少キトキニ限リ其ノ差額ヲ増俸又ハ食料トシテ各規定額ノ範圍内ニ於テ追給差支無之候

艦本機密第一四三〇六號

昭和十二年九月二日

海軍艦政本部長
海軍省軍務局長

海軍公報(部内限) 第二千七百六號 昭和十二年九月三日

八〇五

關係各廳長殿

手投彈藥手榴彈取扱ニ關スル件照會

首題ノ件艦本砲秘11第四三六號「手榴彈ニ關スル注意事項」及艦本砲極秘5第一七七號「手榴彈説明書」等ニ依リ注意セシメラレアルコトト存シ候モ最近軍艦龍田ニ於ケル事故ニ鑑ミ其ノ取扱上特ニ左記事項ヲ遵守セシメラレ度

記

- 一、安全子ノ挿入シアルヲ確ムルト共ニ脱落セザル如ク注意シ安全子ハ投擲直前ニ抜クコト
- 二、安全子挿入シアルモノト雖モ一米以上ノ高サヨリ彈頭部下ニシテ鐵飯「コンクリート」等ノ如キ堅硬物上ニ落下スルトキハ安全子ヲ壓壞シテ發火爆發スルコトアルヲ以テ取扱ヲ慎重ニスルコト

○辭令

海軍技手 橋田 榮次

上海へ出張ヲ命ス(八日海軍省)

海軍書記 大曲 四郎

佐世保鎮守府附ヲ命ス(訪同)

舞鶴海軍工廠勤務海軍技手 嶋崎 正二

海軍艦政本部附ヲ命ス(訪同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第十四驅逐隊司令ハ八月二十七日司令驅逐艦ヲ一時菊ヨリ葵ニ變更セリ

○司令潜水艦變更

第十九潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ伊號第五十六潜水艦ヨリ伊號第五十七潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

第三航空戰隊司令部宛

當分ノ間

佐世保郵便局氣付 軍艦神威

特務艦間宮宛

自 今

佐世保郵便局氣付

○艦船所在

印六「ハ」ホ「フ」
指定ヲ要セズ

○九月三日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕、那珂▲、阿武隈▲、春日▲

▽山城

沖風▲、峯風▲、▽羽風、秋風

伊七、呂五八▲

富士▲、尻矢

(鈴谷)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九▲

▽伊二四、伊二三

【横濱】

(雁)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

帆風▲

【函館】

大泊▲

【吳】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、▽扶桑、伊勢、
球磨、衣笠

夕顔、葛

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、▽伊二二、伊二一、

伊五五、▽呂三三、呂三四、▽伊五四、

伊五三、▽伊五六、伊五七、伊五八、

伊七一

石廊

(蒼龍)▲、(千歲)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

(滿潮)▲、(山雲)▲
青葉

伊六三、▽伊七二、伊七三

(熊野)▲、(荒潮)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

能登呂▲

因島、▽薄▲、藤▲

江田内、平戸、淺間

舞鶴、吾妻▲

▽白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

伊五二

(大潮)▲

【佐世保】

赤城▲、加古、長良、▽金剛、▽常磐、
▽陸奥、長門、日向、▽霧島、榛名、▽五十鈴、
鳳翔

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、萱▲、▽蓼▲、
菱▲、蓬▲、矢風、朝潮、▽島風、沙風、灘風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、

呂六一、呂六二、▽呂六八、呂六三、

▽呂六七、呂六五、▽伊五九、伊六〇、

▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊五、伊四▲

▽鴻、隼

敷島▲、佐多▲、攝津

(夏雲)▲、(伊七四)▲

富江

呂六四

長崎

三隈

海軍公報(部内限)第二千七百六號

昭和十二年九月三日

【郷野浦】 呂六六

【馬公】 嗟峨

朝風

【基隆】 鴨

【巨文島】 葦

【旅順】 巨菊

【塘沽】 淀

【大沽沖】 萩、葵

【青島】 天龍、龍田

【上海】 出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、

鳥羽、二見、保津、堅田

蓮、栗、梅、芙蓉、朝顔、刈萱

【福州沖】 吳竹

【厦門港外】 松風、春風、旗風

【作業地】 木曾、長鯨、神通、由良、名取、鬼怒、

川内、高雄、龍驤、沖島、神威、

白鷹、足柄、羽黑、那智、北上、妙高、

多摩、大鯨、勝利、駒橋、加賀、鳥海、

摩耶、迅鯨、夕張

神風、野風、波風、沼風、初雪、白雪、

吹雪、曉、漣、狹霧、水無月、皐月、

天霧、夕霧、朝霧、菊月、望月、文月、

長月、夕月、三月月、夕立、村雨、五月雨、

春雨、時雨、有明、白露、夕暮、初霜、

子日、若葉、初春、夕風、朝風、響、

【航海中】

磐手、八雲 (八月三十一日「マルセイユ」發「ア

レキサンドリヤ」)

膠州 (八月三十一日「メレヨン」發「バラオ」)

洲崎 (二日横須賀發「大湊」)

巖島、大井 (三日佐世保發「寺島水道」)

雷、電、疾風、追風、陸月、卯月、

彌生、如月、山風、海風、江風、涼風、

太刀風、楡、夕風、綾波、浦波、磯波、

敷波、臘、曙、潮、梯、若竹、早苗、

伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、

伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、

伊六五

雌、鷺、鳩、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶴

掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、

掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八

鳴戸、鶴見、朝日、室戸、野島、襟裳、早鞆、

際戸、知床、間宮

(號外三十七頁、辭令公報添)

0047

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十二年九月三日(金)
海軍大臣官房

○通 牒

經契第三號ノ二〇二三

昭和十二年七月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

諸管類購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件左記ノ通住友金屬工業株式會社、日本鋼管株式會社、日本ステンレス株式會社、株式會社神戸製鋼所、古河電氣工業株式會社、湯淺伸銅株式會社ト契約締結致候條左ニ依リ處理相成度

記

契 約 書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ別紙記載ノ鋼管類(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭和十三年六月末日迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ住友金屬工業株式會社、日本鋼管株式會社、日本ステンレス株式會社(以

下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ別紙記載ノ本品價格表ニ依リ乙ノ工場ノ製品ヲ甲又ハ甲ノ指定スル者(以下註文者ト稱ス)ニ供給スルモノトス

前項ニヨル別紙ノ價格ハ市價ニ著シキ變動ヲ生ジタル場合ハ更改スルコトアルベシ

第二條 乙ハ前條ニ依リ供給スベキ本品ノ製造工事ニ就テハ在、海軍造船監督官(以下監督官ト稱ス)ノ監督検査ヲ受クルモノトス

第三條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第四條 註文者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品種毎ニ品名、寸法、規格、數量、納期、納入場所其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書二通ヲ作製シ一通ヲ乙ニ他ノ一通ヲ監督官ニ送付スルモノトス但シ納期ハ註文書乙ニ到着後約一ヶ月以上ノ餘裕アル如ク取計フモノトス

海軍公報 (部内限) 號外

第五條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ之ト同一

書式ニ依リ購買番號、單價、代價、其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル明細書ヲ附シタル承諾書ヲ監督官ヲ經テ註文者ニ提出スルモノトス

第六條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領者ハ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス

第七條 本品引渡後一ケ年以内ニ有害ナリト認ムル瑕疵ヲ發見セラレタルトキハ乙ハ指定期間内ニ無償ニテ之ガ引換又ハ修理ヲ爲スモノトス

第八條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス
分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルモノトス

第九條 官ニ納入シタル本品代價ニ對シテハ前條ニ依リ代金請求書受領後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂ヲ爲スモノトス

第十條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ザレバ本契約ニ依リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第十一條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ秘密ヲ嚴守シ又他人ヲシテ嚴守セシムル義務アルモノトス

第十二條 本契約ニ明揭ノ外ハ大正十一年四月海軍省

令第十一號海軍契約規程並海軍契約規程施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲メ本書二通ヲ作り各自記名調印シテ各自其ノ一通ヲ保有スルモノナリ

昭和十二年七月一日

海軍省經理局長 村上春一

住友金屬工業株式會社

日本鋼管株式會社

日本ステンレス株式會社

(別表二十三頁添)

契約書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ別紙記載ノ銅管類(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭和十三年六月末日迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ古河電氣工業株式會社、住友金屬工業株式會社、湯淺伸銅株式會社(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ別紙記載ノ本品價格表ニ依リ乙ノ工場ノ製品ヲ甲又ハ甲ノ指定スル者(以下註文者ト稱ス)ニ供給スルモノトス

前項ニ依ル別紙ノ價格ハ左記ニ依リ改訂ヲ爲スモノトス

(一) 價格改訂期 每三ヶ月
(二) 價格改訂方法

銅管一疋中ニハ銅地金一疋ヲ含有スルモノトシ本價格中ニ含ム銅地金ヲ疋當リ金一圓二十六錢トス、日刊工業新聞掲載重要工業商品相場欄所報ノ電氣銅(水曜會建値)相場各改訂期前三ヶ月間(各期自初月一日至終月二十日)一疋當リ平均値ト金一圓二十六錢トノ差額ヲ銅管一疋ノ單價ニ加減スルモノトス但シ其ノ差額ガ金二錢以内ノ場合ニハ價格ノ改訂ヲ行ハザルモノトス

第二條 乙ハ前條ニ依リ供給スベキ本品ノ製造工事ニ於テハ總テ在、海軍造船監督官(以下監督官ト稱ス)ノ監督検査ヲ受クルモノトス

第三條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第四條 註文者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品種毎ニ品名、寸法、規格、數量、納期、納入場所共ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書二通ヲ作成シ一通ヲ乙ニ他ノ一通ヲ監督官ニ送付スルモノトス

但シ納期ハ註文書乙ニ到着後約一ヶ月以上ノ餘裕アル如ク取計フモノトス

第五條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ之ト同一書式ニ依リ購買番號、單價、代價共ノ他必要ナル事項ヲ記載セル明細書ヲ附シタル承諾書ヲ監督官ヲ經テ註文者ニ提出スルモノトス

第六條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領者ハ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス

第七條 本品引渡後一ケ年以内ニ有害ナリト認ムル瑕ヲ發見セラレタルトキハ乙ハ指定期間内ニ無償ニテ之ガ引換又ハ修理ヲ爲スモノトス

第八條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス
分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルモノトス

第九條 官ニ納入シタル本品代價ニ對シテハ前條ニ依リ代金請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂ヲ爲スモノトス

第十條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ザレバ本契約ニ因リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第十一條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ秘密ヲ嚴守シ又ハ他人ヲシテ嚴守セシムルノ義務ヲ負フモノトス

第十二條 本契約ニ明掲ノ外ハ大正十一年四月海軍省令第十一號海軍契約規程並ニ海軍契約規程施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲メ本書ニ通ヲ作り各自記名調印シテ各其ノ一通ヲ保有スルモノナリ

昭和十二年七月一日

海軍省經理局長 村上春一

古河電氣工業株式會社

住友金屬工業株式會社

湯淺伸銅株式會社

(別表五頁添)

契約書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ別紙記載ノ銅及黃銅管類(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭和十三年六月末日迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ株式會社神戸製鋼所取締役社長田宮嘉右衛門(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ別紙記載ノ本品價格表ニ依リ乙ノ工場ノ製品ヲ甲又ハ甲ノ指定スル者(以下註文者ト稱ス)ニ供給スルモノトス

前項ニ依ル別紙ノ價格ハ左記ニ依リ改訂ヲ爲スモノトス

一) 價格改訂期 每三ヶ月

(二) 價格改訂方法

銅管一疋中ニハ銅地金一疋ヲ含有シ

黃銅管一疋中ニハ銅〇、七疋亞鉛〇、三疋ヲ含有ス

ルモノトシ本價格中ニ含ム銅地金ヲ疋當リ金一圓

二十六錢也、亞鉛(A%)地金ヲ疋當リ金七十錢

也トス、日刊工業新聞掲載重要工業商品相場欄所

報ノ電氣銅(水曜會建値)相場及亞鉛(A%)相

場各改訂期前三ヶ月(各期自初月一日至終月二十

日)一疋當リ各平均値ト電氣銅金一圓二十六錢及

亞鉛(A%)金七十錢トノ差額ヲ銅管及黃銅管(銅

及亞鉛ハ上記割合ニ依ル)一疋ノ單價ニ加減スル

モノトス但シ其ノ差額ガ金二錢以內ノ場合ニハ價

格ノ改訂ヲ行ハザルモノトス

第二條 乙ハ前條ニ依リ供給スベキ本品ノ製造工事ニ

於テハ總テ在八幡海軍造船監督官(以下監督官ト稱

ス)ノ監督検査ヲ受クルモノトス

第三條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第四條 註文者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品種毎ニ品名、寸法、規格、數量、納期、納入場所其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書二通ヲ作成シ一通ヲ乙ニ他ノ一通ヲ監督官ニ送付スルモノトス但シ納期ハ註文書乙ニ到着後約一ヶ月以上ノ餘裕アル如ク取計フモノトス

第五條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ之ト同一書式ニ依リ購買番號、單價、代價其ノ他必要ナル事項ヲ記載セル明載書ヲ附シタル承諾書ヲ監督官ヲ經テ註文者ニ提出スルモノトス

第六條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領者ハ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス

第七條 本品引渡後一ケ年以内ニ有害ナリト認ムル瑕疵ヲ發見セラレタルトキハ乙ハ指定期間内ニ無償ニテ之ガ引換又ハ修理ヲ爲スモノトス

第八條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準シ請求書ヲ提出

スルモノトス

第九條 官ニ納入シタル本品代價ニ對シテハ前條ニ依リ代金請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂ヲ爲スモノトス

第十條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ザレバ本契約ニ因リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第十一條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ秘密ヲ嚴守シ又ハ他人ヲシテ嚴守セシムルノ義務ヲ負フモノトス

第十二條 本契約ニ明掲ノ外ハ大正十一年四月海軍省令第十一號海軍契約規程並ニ海軍契約規程施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲メ本書二通ヲ作り各自記名調印シテ各其ノ一通ヲ保有スルモノナリ

昭和十二年七月一日

海軍省經理局長 村 上 春 一

神戸市葺合區脇濱町一ノ三一

株式會社神戸製鋼所

取締役社長 田 宮 嘉右衛門

(別表四頁添)

0052

株 業 工 属 金 友 住										製造所									
”	”	三	三	三	”	”	”	四	四	”	”	五	”	五	”	六	五	寸	繼 目 無 鋼 管 第 一 種
		五	六	八				〇	五			〇		五		五		内徑(糎)	
																		外徑(糎)	
四	五	五	四	四	二	四	五	五	三	五	五	六	五	六	”	五	〇	厚サ(糎)	
五	〇	五	五	〇	六	五	五	〇	二	〇	五	〇	〇	〇	”	〇	〇	法	
五	四	五	〇	”	”	五	四	”	”	”	”	”	”	”	”	五	三	五	長サ(糎)
〇	〇	〇	五			〇	〇									〇	〇		
〇	〇	〇	〇			〇	〇									〇	〇		
一	一	二	一	一	二	二	二	一	三	三	三	三	四	二	四	一	〇	一本當リ單價	
八	六	三	一	一	〇	〇	〇	七	〇	〇	〇	〇	〇	四	六	〇	〇	記	
七	八	三	九	六	九	九	六	〇	六	九	三	三	六	〇	〇	〇	〇	本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造運賃及納入ニ要 スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス(以下同斷) 在大阪監督官	
〇	三	七	五	四	九	九	三	〇	〇	三	三	三	八	〇	〇	〇	〇		事
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		

(昭和十二年九月三日公報(部内限)號外別紙)

0054

鋼管株式會社

” 一 ” ” ” ” 二 ” ” ”
五 ○

二二二二三三三四三三二
〇六三九二五〇六二九

” ” ” ” ” 五 四 ” ” 五
〇 〇 〇 〇 〇

四 五 五 六 七 七 六 七 八 七
三 四 五 七 二 四 四 二 六 九
二 〇 〇 一 六 五 八 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

五

0055

製造所										寸	法	一本當り單價	記					
屬	金	友	住	住	住	住	住	住	住					内徑(耗)	外徑(耗)	厚サ(耗)	長サ(耗)	
”	”	一六〇	”	一七〇	一八〇	”	二〇〇	”	二二〇	”	”	二四〇	”	二六〇	二八〇	三〇〇	六四五八六〇	<p>本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造運賃及納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス(以下同斷) 在大阪監督官</p>
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	五〇〇二六〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	四一〇七六〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	四四〇七九〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	三四一九三〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	三九四六〇〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	二八九五七〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	二四三三六〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	一九三二〇〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	一八七六〇〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	一四〇五二〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	一〇八六〇〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	一〇二六〇〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	一一二五〇〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	一〇六〇五〇	
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	一五二六〇〇	

縦目無鋼管 第四種

六

0056

工 業 株 式 會 社														
九〇	”	”	一〇〇	”	”	一〇〇	”	一〇〇	”	”	一〇〇	”	一〇〇	一六〇
三・二	二・六	”	三・二	二・六	二・九	三・二	二・六	”	三・二	三・五	二・九	三・二	三・五	二・九
”	五〇〇〇	六〇〇〇	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	五〇〇〇
三六八〇〇	三二九〇〇	四八九〇〇	四〇八〇〇	四一六三〇	四六四六〇	五一四〇〇	四五三一〇	五六〇〇〇	六〇四九〇	六六三五〇	六六五六〇	七三五八〇	八〇六〇〇	七一二四〇
														八八六一〇
														一二五三八〇
														九六七五〇
														九三七五〇
														八六三二〇
														七八六五〇
														七一二四〇
														八〇六〇〇
														七三五八〇
														六六五六〇
														六六三五〇
														六〇四九〇
														五六〇〇〇
														四五三一〇
														五一四〇〇
														四六四六〇
														四一六三〇
														四〇八〇〇
														四八九〇〇
														三二九〇〇
														三六八〇〇

業 株 會 式 社																				
”	”	”	三〇	”	”	”	三五	”	”	”	四〇	”	四五	”	”	五〇	五五	”	”	”
二・六	三・二	四・〇	五・〇	二・三	二・六	二・九	三・五	二・六	二・〇	二・六	四・〇	二・六	三・五	二・六	四・五	”	”	”	二・六	二・八
”	”	五〇〇〇	二〇〇〇	”	”	”	五〇〇〇	四〇〇〇	”	”	”	”	五〇〇〇	四〇〇〇	”	”	五〇〇〇	四〇〇〇	”	五〇〇〇
七五六〇	九四三〇	一三〇九〇	五八四〇	七二〇〇	八二二〇	九二四〇	一一二八〇	七四一〇	七〇七〇	九三一〇	一四七五〇	一〇四〇〇	一四二八〇	九七二〇	二一八一〇	一一一六〇	一三三二〇	一三二〇〇	一六四八〇	一六九二〇

九

0062

社 會 式

四 四 五 ” 六 六 ” 八 ” ” ”

” 一 一 一 一 二 一 二 二 一
八 〇 六 八 九 八 三 〇 三 八

四、 ” ” ” 五、 四、 ” 五、 ” 四、 五、
〇 〇

二 三 一 三 四 五 四 五 三 四 四
五 二 九 六 〇 二 四 二 八 四 四
〇 五 六 〇 八 〇 〇 二 四 八 二
〇 〇

0063

製造所		寸	法	一本當り單價	記	
金	友					住
一〇	”	一〇	二四〇	二七三七八〇	本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造運賃及納入ニ要 スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス(以下同斷) 在大阪監督官	
二〇	”	二〇	二四〇	二六二一八〇		
三〇	”	三〇	二四〇	二五〇〇二〇		
四〇	”	四〇	二四〇	一九三二九〇		
五〇	”	五〇	二四〇	一三六五一〇		
六〇	”	六〇	二四〇	一六二八六〇		
七〇	”	七〇	二四〇	一三六三五〇		
八〇	”	八〇	二四〇	一二一五〇〇		
九〇	”	九〇	二四〇	九六七五〇		
一〇〇	”	一〇〇	二四〇	九八九三〇		
一〇〇	”	一〇〇	二四〇	七一二四〇		
一〇〇	”	一〇〇	二四〇	八〇六〇〇		
一〇〇	”	一〇〇	二四〇	六六三五〇		
一〇〇	”	一〇〇	二四〇	五四七四〇		
一〇〇	”	一〇〇	二四〇	六一四一〇		
一〇〇	”	一〇〇	二四〇	四五三一〇		
一〇〇	”	一〇〇	二四〇	五一四〇〇		

繼目無鋼管 第六種

0065

社 會 式 株 管 鋼 本 日	社 會
” 一 ” 一 ” 二 ” 二 〇 五 〇 五	” ” 三 三 ” ” ” 四 四 ” ” ” 五 〇 五 〇 五
一 二 一 二 一 二 一 二 六 三 六 三 六 三 六 六	四 二 ” 二 二 二 二 四 二 四 二 二 二 三 〇 六 九 〇 六 九 五 九 〇 六 九 〇 二
” ” ” ” ” ” ” 五 〇 〇 〇	” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ”
四 五 三 四 四 五 五 七 一 二 七 九 〇 〇 七 三 五 四 五 九 〇 〇 九 〇 六 〇	一 二 八 九 七 九 〇 一 一 二 二 九 一 一 一 五 二 六 六 一 五 五 七 七 〇 七 〇 一 三 三 五 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
在東京監督官	

住友友金											日本スダレス											
											七〇	八〇〇	九〇〇									
二	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	三	〇									
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃									
三	六	三	四	六	〃	三	八	三	〃	〃	二	五	二	二	二	二	六	〇	六	九	六	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	五	六	〇	〇	〇	〃	〃	〃	〃	五	〇	〇
二	四	二	三	五	三	六	一	八	九	一	七	一	四	〇	〇	一	三	二	二	二	一	〇
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	五	一	六	九	六							
二	四	二	三	五	三	六	一	八	九	一	七	一	四	〇	〇	在	大	阪	監	督	官	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	五	一	六	九	六	在	大	阪	監	督	官	
二	四	二	三	五	三	六	一	八	九	一	七	一	四	〇	〇	船	體	川	ノ	ミ		
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	五	一	六	九	六							

工 業 株 式 會 社																								
七〇	”	”	”	”	七五	”	八〇	”	八五	”	九〇	”	九五	”	一〇〇	”	”	”	”	”	”	一〇〇		
二九	二六	二九	三二	三五	五〇	二九	五〇	二九	三二	”	六五	三二	三五	二〇	五〇	三五	三二	”	”	”	”	六五		
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	五〇〇〇	四〇〇〇	六〇〇〇	”	”	”	”	”	”	”	五〇〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	六〇〇〇
一二	一八	三一	一四	一五	二〇	一四	二二	一四	一六	二七	四一	一八	二〇	一二	二九	二三	二一	三三	四二	五〇	”	”	”	”
二四〇〇	三〇〇	一五〇〇	四八〇〇	七五〇〇	〇三〇〇	〇七〇〇	六一〇〇	九九〇〇	四七〇〇	三三〇〇	〇〇〇〇	五一一〇	一九〇〇	三三〇〇	九三〇〇	四六〇〇	五二〇〇	九一〇〇	三三八〇	八四〇〇	”	”	”	”
				”	船體用ヲ除ク	船體用ヲ除ク				”	船體用ヲ除ク													

0068

式 株 管 鋼 本 日	社
三〇 ” ” ” 三五 ” 四〇 ” ” 四五 ” ” 五〇 ” ” 五五	六〇 ” 六五 六五 ”
二・六 二・三 二・六 二・九 三・三 二・六 ” 二・九 二・六 三・二 三・二 二・六 二・九 二・六 二・九 五・〇	” 二・六 二・九 三・二 二・六
” ” ” ” ” ” ” ” ” 五、〇〇〇 三、六〇〇 ” ” ” ” ” ” 五、〇〇〇	” ” ” ” ”
四四 五五 六六 六六 七七 六九 六〇 九七 八八 九五 一五	九〇 一一 一二 一一
四八 七四 三〇 八六 四二 一〇 七八 七〇 九三 〇六 四三 七五 八一 五六 五三 七〇	三八 〇〇 三二 〇〇 四四 〇〇 〇一
	在東京監督官

一七

0069

日本ス 株式會社 レンテス	會社
” 七 八 ” 九 五 〇 〇	一 二 ” ” 二 五 〇 〇 五
三 ” 五 ” 六 五 〇 五	” ” 二 二 二 三 六 九 八
” ” 五、四、六 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇	” ” ” ” ” 五、〇〇〇 〇〇〇
一 二 二 二 四 五 二 三 七 一 七 〇 六 三 〇 五 〇 一 三 〇 〇 〇 〇 〇 〇	五 五 五 六 七 四 四 〇 七 四 一 二 〇 〇 六 八 一 八 〇 〇 〇 〇 〇 〇
在大阪監督官船體用ノミ	

0070

工 屬 金 友 住										製造所	縦目無鋼管 第A種	
”	一	”	一	”	一	”	一	”	一	内徑(耗)		寸
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	外徑(耗)		
三・五	三・二	二・六	三・五	二・六	三・二	二・九	三・五	二・九	”	厚サ(耗)		法
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	長サ(耗)		
二八・一六〇	二五・七〇〇	二二・八〇〇	三〇・九三〇	二四・八二〇	三〇・六八〇	二九・九八〇	三六・三五〇	三二・二五〇	三九・〇六〇	一本當リ單價	記 事	
												本表單價表中ニハ納入地迄ノ荷造運賃及納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス(以下同斷) 在大阪監督官

0071

管鋼本日	社 會 式 株 業
” 二 ” 二 〇 五	” ” 三 ” ” 四 ” ” ” 五 ” ” 六 ” ” 六 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
三 二 一 二 六 三 六 六	一 二 四 二 二 四 二 二 二 四 二 二 四 二 二 三 二 八 六 〇 〇 六 五 〇 六 九 五 六 九 五 六 九 二 六
” ” ” 五 〇 〇 〇	” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” 五 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
三 五 四 六 六 二 四 四 一 九 五 〇 〇 〇 〇 〇	四 六 八 六 九 一 八 一 一 一 二 一 二 一 一 一 一 一 一 四 六 七 八 〇 六 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 七 一 三 六 四 〇 六 九 〇 八 六 七 五 七 〇 一 〇 二 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
在東京監督官	

二〇

0072

株業工属金女住	スレンテス本日 社 會 式 株	社:會式株
	” 七 ” ” 八 ” 九 〇 〇 〇	” 一 ” 一 〇 五
五 ” 七 一 一 ” 一 一 ” 一 五 五 〇 〇 〇 〇 〇 〇		
五 三 ” 五 ” 六 ” 六 〇 五 〇 五 〇 五 〇 五	二 二 二 二 三 二 三 六 九 六 九 二 六 二	一 二 一 二 六 三 六 三
” ” ” ” ” ” ” 五 六 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	” ” ” ” ” ” 五 〇 〇 〇	” ” ” ”
一 一 二 三 四 五 一 五 六 六 〇 六 〇 六 〇 六 〇 六 〇	一 一 一 二 一 二 二 三 四 六 六 七 七 七 八	二 三 三 四 五 八 三 八 五
	在大阪監督官	在大阪監督官

二一

0073

社會式株管鋼本日	社 會 式
一三・八 一七・三 二〇 二一・七 二五 二七・二 三〇	三五 四〇 四五 五〇 ”
” ” 二・三 二・八 二・三 二・八 二・六	三・二 二・九 三・二 二・六 二・九
” ” ” ” ” ” 五〇〇〇	” ” ” ” ” ” 五〇〇〇
四一・二 二〇・二 四九・五 二五・三 五三・七 三一・九 六三・三 三〇	六五・五 六九・一 八五・八 九五・七 九七・二 二〇
在東京監督官	

二三

0074

製造所	日本株式會社	管鋼本	寸	法	一本當リ單價	記	事
	徑	管ノ稱呼					
	五、〇〇〇	長サ(種)					
1/2"	3/4"	3/8"			二二五〇	本表單價表中ニハ納入地迄ノ荷造運賃及納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス	在東京監督官
				三三六〇			
				二九二〇			

二三

業工氣電河古株 社 會 式 株		社 會 式 株 業 工 屬 金 友 住						製 造 所		寸	法	繼 目 無 銅 管	一 本 當 り 單 價	記 事
” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”					
” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”
一六〇	一七〇	二四〇	二五〇	二六〇	二八〇	三〇〇	三二〇	三四〇	二・九	四・〇	六・〇	” ” ” ” ” ”	五、〇〇〇	六八五、二七〇
二・三	二・六	二・九	四・五	二・六	二・九	四・〇	四・五	四・〇	二・九	四・〇	六・〇	” ” ” ” ” ”	五、〇〇〇	七一九、三六〇
” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	” ” ” ” ” ”	六七八、二六〇
一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	三八〇、八〇〇
一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	四九三、八六〇
一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	三一九、八〇〇
一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	二九一、一〇〇
一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	五二八、一二〇
一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	二三九、七〇〇
一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	二五七、〇八〇
一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	二五七、〇八〇
一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	一〇二、八三〇	二五七、〇八〇

(昭和十二年九月三日公報(部内限) 號外別紙)

0076

式	株	業	工	屬	金	友	住	
”	九	”	”	”	”	”	”	”
〇			〇		〇		〇	〇
二・三	二・六	二・〇	二・三	二・六	三・二	三・五	二・〇	二・三
二・三	二・六	二・〇	二・三	二・六	三・二	三・五	二・〇	二・三
”	”	”	”	”	”	”	”	”
四六六二〇	五二二三〇	四五八八〇	五一九八〇	五八一八〇	七七一四〇	七七九二〇	五一九五〇	五八八四〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一〇二九二〇	九二一三〇	八三七九〇	八四九五〇	七七八六〇	七八五六〇	六三八三〇	一一六〇八〇	七二六九〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
								在大阪監督官

0077

株 業 工 氣 電 河 古	社 會
” 一 ” ” ” ” 二 ” ” ” ” 二 五 〇 五	” ” ” 七 ” 八 八 ” 九 五 〇 五 〇
三 三 ” 一 二 二 四 ” 一 二 二 四 三 五 八 〇 六 〇 八 三 九 〇	一 二 二 二 二 ” 二 二 二 四 〇 三 九 〇 三 〇 九
” 五 四 ” ” ” 五 四 ” ” ” 五 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	” ” ” ” ” ” ” ” 五 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
一 一 六 八 九 二 二 一 一 一 二 二 三 三 九 七 四 三 〇 〇 〇 〇 〇 〇	二 三 三 四 三 四 四 四 五 八 四 三 一 八 〇 七 〇 〇 〇 〇 〇
	在大阪監督官

三

0079

株 式 會 社

二
八 ” ” ” ” ” 四 ” 五 ” ” ” ” ” 六 七 八

” 〇 一 ” 一 三 一 二 ” ” 一 一 二 二 ” 一
八 〇 四 〇 〇 五 六 八 〇 三 〇

” ” ” 五 〇 〇 ” ” 五 四 〇 ” ” ” ” ” 五
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 一 一 二 一 五 一 四 二 三 二 三 三 四 二 二
一 三 三 〇 九 〇 五 五 三 〇 二 三 三 四 〇 〇
〇 〇 〇 〇 八 四 五 二 九 〇 〇 七 六 九 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

0080

製造所		寸				一本當り單價	記
式	株	内徑(耗)	外徑(耗)	厚サ(耗)	長サ(耗)		
"	七〇			四・〇	"	六二六八〇	本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造、運賃及納入ニ 要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス 在八幡監督官
"	"			二・三	"	三五二六〇	
"	"			二・六	"	一二五四九〇	
"	"			二・八	"	一三五三二〇	
"	"			二・九	"	一四〇二三〇	
"	"			三・二	"	一四二六八〇	
"	一八〇			五・〇	"	一三七九一〇	
"	一九〇			二・六	"	一三九三〇〇	
"	"			二・九	"	一八一〇六〇	
"	"			二・六	"	一六九二八〇	
"	"			三・二	"	一八九九八〇	
"	"			五・〇	五・〇〇〇	二九九四九〇	
"	二〇〇			四・〇	三・五〇〇	二〇一七一〇	
"	"			二・六	"	二一一一四〇	
"	"			二・九	"	二一六九六〇	
"	"			三・五	"	二五一六二〇	
"	二三〇			二・九	五・〇〇〇	二三六九四〇	
"	二二〇					二二六四二〇	

繼目無銅管

(昭和十二年九月三日公報(部内限)號外別紙)

0081

戸	神	社	會
” ” ” ” ” 五 ” 五 ” ” ” ” ” 六 ” ” ” 六 ” ” 七	〇 〇	〇	〇
一 ” 二 二 二 三 二 二 ” 二 ” 二 二 二 一 一 二 二 二 二 三	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇	〇
五、四、 ” ” ” ” ” 五、四、五、二、 ” ” 五、五、 ” ” ” 五、三、五、	〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇	〇	〇
一 一 二 二 二 三 二 二 二 二 一 三 三 三 一 一 二 三 三 二 二 四	八 七 二 五 八 五 七 七 二 二 五 〇 八 四 七 五 八 六 九 〇 九 三 九	〇	〇
一 一 二 二 二 三 二 二 二 二 一 三 三 三 一 一 二 三 三 二 二 四	八 七 二 五 八 五 七 七 二 二 五 〇 八 四 七 五 八 六 九 〇 九 三 九	〇	〇

0082

所 鋼 製														
”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”		
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		
一	一	二	一	二	二	二	三	一	二	二	二	一	二	二
〇	〇	八	〇	八	〇	三	六	〇	三	六	〇	八	〇	六
五	四	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	五
〇	〇													〇
〇	〇													〇
〇	〇													〇
六	九	一	二	一	一	二	一	一	二	一	二	一	二	二
八	六	九	〇	三	五	七	二	四	〇	八	〇	五	六	〇
三	六	五	八	五	〇	〇	〇	〇	〇	五	六	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

三

0083

株式會社神戶製鋼所		製造所		目 無 黃 鋼 管
二五		内徑(糎)	寸	
一〇	一二 一五 " 二〇 " 二五 三〇 四〇 四五	外徑(糎)		
一・八	一・四 " 一・〇 " 一・四 四・〇 二・三 四・五 二・三 二・六 二・三	厚サ(糎)	法	
五、〇〇〇	" " 二、〇〇〇 " " " " " " " 五、〇〇〇	長サ(糎)		
九〇八〇	九六〇 九五二〇 五二一〇 二六六〇 一〇〇一〇 一七八三〇 一九八〇 一八〇七〇 一八二〇〇	一本當リ單價		記 事

本表單價中ニハ納入地迄ノ荷造、運賃及納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス
在八幡監督官

四